

連携

第48号

病院の理念

わたしたちは、患者さまを第一に考え、いのちを大切にす最善の医療を行い、地域に貢献します

基本方針

わたしたちは、患者さまのことを考え、いのちを大切にします

1. 市民から信頼される、安全な医療を行います
2. 良質な医療を行うために、つねに新しい知識と技術を身につけるように努めます
3. 地域のニーズに合った医療を提供することで、地域に貢献できる病院をめざします
4. 地域の医療の中心として、ほかの医療機関との連携に努めます

ご挨拶

栗原中央病院 院長 小林光樹



栗原にも冬の渡り鳥がだいぶ渡ってきたようで、空を飛ぶ様子や田んぼで餌を探す様子を見かけるようになり、秋の気配が濃厚に感じることができるようになってまいりました。

寒い季節になればインフルエンザをはじめとする感染症の流行が懸念される時期でもあります。ぜひとも情報を共有して対策にあたっていききたいものです

さて、宮城県の資料を見てみますと、栗原の医療圏は高齢者の比率が宮城県内でもっとも高くなっていることが分かります。成人と比べてちょっとしたことで、体調を崩しやすくなる高齢者を多く抱えたこの地域での住民の健康をどのように守っていくかということは、われわれ医療・介護に携わる人間が協力してことにあたっていかなければならない問題だと考えます。

この問題に、栗原中央病院がどのように役立っているのか。この10月から連携室と協力して、市内の医療機関を訪問し直接お話をする機会を作ってきました。その際にいただいたご助言やご意見はたくさんありますが、それらを

今後の病院運営に活かしていきたいと考えています。さらに一歩進めて、栗原中央病院はどうしたらより密接な連携・協力・情報共有を行えるか、つまりよく言われる言葉ですが、顔の見える関係をつくり上げることができるのか、模索していきたいと考えております。

具体的には、できるだけ多くの方々と直接顔を合わせ、直に話す機会を増やしていこうということから始めたいと思います。先日の10月3日に連携のつどい「よらいん」を開催し、様々な職種・大勢の方々にお集まりいただきました。参加していただいた方には感謝いたします。短い時間でしたが、有意義な交流ができたと考えております。この会は今後も続けていきたいと思ひますし、来年になると思ひますが、別の形での会も企画して院内の職員の顔を紹介できるような内容でご案内を差し上げたいと思ひますので、その際にはどうぞご参加をいただければありがたいと思ひます。

これからの栗原中央病院の診療や活動に期待していただきたいと思ひますし、そのためのご助言をいただければありがたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

地域連携のつどい “よらいん” 開催しました

平成 25 年 10 月 3 日（木）に第 1 回地域連携のつどい “よらいん” を開催しました。連携のつどい “よらいん” は栗原市内の保健医療介護に関わる方々が一堂に会し、顔の見える関係を築くことで円滑な連携を進めることを目的とし、まずは寄って行ってほしいという思いから開催しました。当日は市内の医療・福祉関係者、行政職員など 129 名のみなさんに “よらいん” に参加していただきました。

はじめに当院の地域医療連携室顧問副院長・佐藤修一医師が、栗原中央病院について開院以来の手術件数や紹介・逆紹介率など、スライドを使ってわかりやすく説明をしました。

次に登米市民病院の地域連携における取り組みについて、登米市民病院地域医療連携室の富士原啓子看護師長からご講演いただきました。医療連携を進めるにあたって医師会や行政とも連携し、それぞれの役割を果たしつつ協力し合いながら地域住民の医療環境を整えているとのことでした。一番大切なのは “face to face” の関係であるとおっしゃっていました。

当院の地域医療連携室と市内にある住宅型有料老人ホームやまぼうしとの共同発表では、当院を退院された後、やまぼうしに入居された末期がんの患者様の事例を紹介しました。シームレスケアの実践にあたり、患者様に関わっている病院スタッフだけでなく、退院後に関わる医療スタッフや福祉関係者が集まりカンファレンスを行いました。患者様の願いでもあった「妻の顔を見ながら過ごしたい」という思いに寄り添いながら、それぞれが意見を出し合い調整できたことは連携の絆を強めることができたと思います。

その後の懇話会では他職種が交じり合っグループを作り、自己紹介をふくめた歓談はとても盛り上がりました。

“よらいん” に寄っていただく皆さんからは「連携の重要性を改めて考えさせられた」「連携の大切さがわかった」などのご意見をいただきました。今後も連携のつどいを継続して行い、顔の見える関係づくり・意見を出し合い尊重できる関係づくり、そして地域の皆さんが笑顔になれるよう連携を強めていきたいと思ひます。



カンファレンスの様子



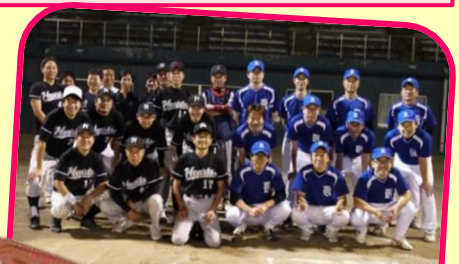
他職種が交じり合い名刺交換や歓談する様子



第 4 回 栗原中央病院 vs 高橋ハートクリニック野球大会

8 月 28 日に毎年恒例であります瀬峰の高橋ハートクリニックとの親睦試合が行われました。結果は 9 対 2 で栗原中央病院の大敗でしたが、当日は雨に降られることもなく両チームともに良い試合ができました。来年・再来年と継続して行う予定です。

野球部キャプテン 安保貴士



第1回糖尿病患者病友の会イベント-ウォーキング・川渡温泉プラス昼食会-



平成25年8月31日(土)に糖尿病療養チーム糖尿病患者友の会主催、第一回イベント(ウォーキング)を計画し予定通り実施しました。

天気予報では、雨の予報もあり、とても心配しましたが糖尿病患者とスタッフ合計20名で、川渡温泉風の道(約2km)を太田理学療法士を先頭に休憩施設の二宮荘まで完歩してきました。

そして昼食ですが、糖尿病を考えた野菜中心の600kcal未満塩分3g以下の食事を頂き温泉に入って予定通り帰ってきました。

行き帰りのバスの中でもクイズをして今回の目的でもある患者同士、患者とスタッフとの親睦もとれて和やかに楽しく終えたと思います。友の会に入会していなかった患者も今回入会していただきうれしく思います。これからも第2回、3回と続けていきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

栄養管理室 室長 伊藤義博



地域医療連携室学術講演会 (平成25年8月26日開催)

「誤嚥が関与する肺炎への対応を考える」

愛知医科大学病院 感染症科/感染制御部 准教授 山岸由佳先生



当日の参加者は141名と、これまでにないたくさんの皆様のご参加を頂きました。興味ある演題であったことはもちろんのこと、安心して暮らせるための地域包括型医療を構築するには、それぞれの役割を果たすだけでなく、連携し共同することが重要であることを共有出来たととらえています。角度を変えれば、地域の医療介護福祉関係者が、当院へ抱いている関心の高さではないでしょうか。学術講演会は、一堂に会して学ぶ機会であるとともに地域医療連携室としての期待は、当院を知っていただくためのチャンスであり、顔と顔を合わせてより良い関係を作るための場にさせていただくことです。

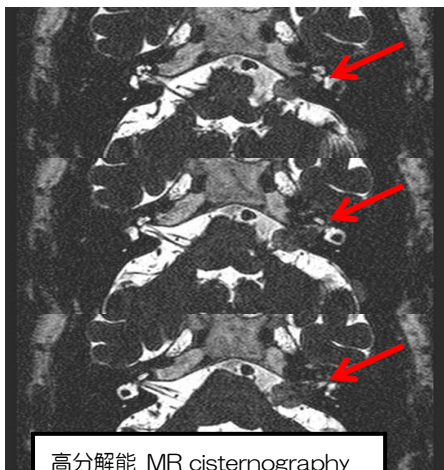
地域医療連携室は今後も当院の良さを外部に向けて積極的にアピールしてまいりますので、当院のアピールポイントを増やしていけるよう職員一丸となって“来たくなる病院”を目指していきます。

地域医療連携室長 千葉由美子



シリーズ

見える! 診える!! 栗中のMRI! - その1 -



高分解能 MR cisternography



造影 T1 強調画像

聴神経腫瘍

小脳橋角部で最も多い腫瘍性病変です。当院では高分解能 MR cisternography などを用いて小さな病変の検出向上を図っています。



栗原中央病院のMRIは、画像が鮮明です。ご予約いただければ迅速に対応いたします。どうぞお申し込み下さい。



学会・研修会・論文発表

- ★第39回日本骨折治療学会 2013.6.28-29 一久留米市一
『大腿骨骨折後に大腿.下腿の筋区画症候群を合併した1例』
…仙台医療センター 整形外科 大泉 樹、伊勢福修司、千葉知規、小川真司、安倍美加
- ★第44回日本脾臓学会大会 2013.7.25-26 一仙台市一
『超高齢女性のアルコール性重症急性脾炎の1例』…佐藤晃彦、小泉 勝
- ★日本医療マネジメント学会宮城支部第7回学術集会 2013.7.13 一大崎市一
『始業点検標準化計画』…曾根裕香、三橋澄子、菅原恵理、澤邊直美、後藤由美子
『病棟をきれいにして、ピフォー・アフター』…佐藤順子、鈴木和子、岡本真紀、瀬戸雪枝、渡部輝美、大橋昌子
- ★宮城県医師会報 2013.8.1 P.585 地域のページ
『医療用ICカードの実証実験に参加して』…中鉢誠司(栗原市医師会理事)
- ★第26回東北膵・胆道癌研究会 2013.10.19 一仙台市一
『胆嚢炎・胆管炎症状を呈した早期胆嚢癌の1例』…○佐藤晃彦、小泉 勝、中川 有、中鉢誠司



診療状況報告



◎内視鏡検査等状況

(単位:人)

	上部消化管				下部消化管		ERCP 関連	合計
	診断的 内視鏡	止血術	粘膜切除 粘膜下層 剥離術	胃瘻造設術 食道拡張術 異物除去他	診断的 内視鏡	治療内視鏡 ポリペクトミー他		
4月	157	11	1	10	48	16	29	272
5月	199	8	4	6	74	8	16	315
6月	164	11	2	3	97	15	11	303
7月	188	10	11	4	113	13	25	364
8月	134	10	2	1	90	15	29	281
9月	178	8	5	6	106	28	12	343

◎手術実施状況

(単位:人)

区分	全身麻酔				腰椎麻酔				局所麻酔						合計
	外	皮	整	計	外	皮	整	計	外	眼	皮	内	整	計	
4月	21	1	10	32	2	0	4	6	4	21	3	0	1	29	67
5月	24	1	11	36	1	0	9	10	1	21	1	0	0	23	69
6月	25	0	11	36	1	0	11	12	2	21	0	0	5	28	76
7月	31	2	12	45	0	0	4	4	1	17	1	0	4	23	72
8月	26	1	6	33	0	0	7	7	3	17	1	1	2	24	64
9月	19	0	14	33	1	0	4	5	1	15	4	0	4	24	62

◎救急医療状況

()内及び時間内患者数は救急車搬入数

(単位:人)

区分	外来		入院		時間外計	時間内計	救急車 搬入計
	時間外	時間内	時間外	時間内			
4月	222 (56)	18	56 (31)	29	278 (87)	47	134
5月	257 (56)	14	86 (48)	18	343 (104)	32	136
6月	242 (59)	14	64 (36)	33	306 (95)	47	142
7月	213 (64)	14	60 (41)	16	273 (105)	30	135
8月	293 (69)	15	61 (36)	20	354 (105)	35	140
9月	261 (62)	11	67 (30)	26	328 (92)	37	129

編集後記

「〇〇の秋」みなさんにとってはどんな秋になりましたか。これからますます寒さ厳しくなっていますので風邪をひかないよう、お気をつけください。

